

まがな



秋田市手をつなぐ育成会
会報 第32号

平成30年3月31日発行

〒010-0922
秋田市旭北栄町1-5 秋田県社会福祉会館
秋田市手をつなぐ育成会 内
018-864-2718

秋田市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例



会長 田中 勉

一昨年の「障がい者差別解消法」の施行を受けて、秋田市では、今年4月より「秋田市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」が施行されます。この条例は、秋田市が、秋田県内では初めての施行であり、秋田県では、今年度で作成し来年度施行という事であり、他の市町村は手付かずの状態です。今後、この秋田市の条例が、他の自治体に大きな影響を与えるものと考えられ、秋田市の功績は大きいと考えております。

この条例の制定にあたり、私も議会において一般質問で質問をして要望し、当初より関係部署を動きました。そして、当会の小林副会長が、秋田市社会福祉審議会の障がい部会の委員として、その審議会での自治体の例も提示して、「障がい者差別解消支援地域協議会」と「障がい者差別解消調整委員会」必要性を説き、秋田市は、私たちの要望の全てを盛り込んだ形で条例を検討し、制定をしていただきました。このように、ある意味

では、秋田市手をつなぐ育成会の考えていた通りの条例が出来上がったといっても過言ではないと考えております。只、この条例は、あくまで理念条例であり、こうあるべきという姿を示しただけではありません。ですから、今後、如何にしてこの理念を市民に周知し、真に秋田市が障がいのある人もない人も共に生きるまちづくりが出来ていくかが課題だと思います。秋田市は今後、リーフレットや市のホームページ、市民への説明会を通じて条例を周知していくとしておりますが、共生社会の実現に向かっていくてくれることを信じたいと考えます。又、秋田県は、一年遅れで来年度施行されますが、こちらは、当会の近藤副会長が、県議会議員に要望し、来年4月施行という事になり、これも大きな成果であります。さて、私は、日頃から障がい者福祉の分野の活動は、中々成果が見えにくいという事を痛感しております。その理由の第一は、障がい者が、市民全体からみると少数であるという点です。例えば、高齢者福祉は、圧倒的に人数が多いですし、年々増えております。又、児童福祉も、毎年子どもが生まれ、大きく減少することはありません。ですから、障がい者福祉の活動は、少数でどうしても市民や役所に見えにくいという事もあり、後回しにされているという実感があります。第二には、高齢者福祉と児童福祉の分野は、

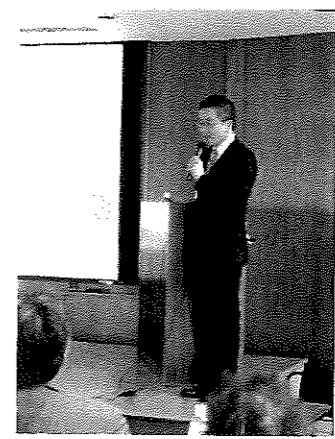
その課題の難易度は別にして誰でもわかりやすいし、一般市民の理解が得やすいという点だと思えます。その結果、市民の協力も得やすいということが言えます。一方、障がい者福祉の分野は、課題が多いこともさることながらその課題が一人ひとり違い、複雑であるという点があります。ですから市民が理解するのが難しいですし、当事者以外の外部の方々からの協力が得にくいと考えます。このように、障がい者福祉の分野の活動は、成果が見えにくく、難しいと言わざるを得ません。課題解決の成果が見えにくく難しいとしても、そして、一般市民からの協力を得ることが難しいとしても、成果を上げていくには、私たち当事者団体の手をつなぐ育成会が頑張らなければいけないし、一般市民の協力を得るためにも私たち育成会の会員が頑張っている姿をもっと市民に知っていただく必要があると考えます。過去においても、先人の方々が手をつなぐ育成会として地道な活動してきたことで、結果として今の年金制度が生まれ、学校が出来、多くの施設が出来てきたと考えています。私たちの地道な活動で少しずつではありますが、知的障がい者の生活が質の向上が進んでいくことを確信し努力を続けていくことが大事だと感じております。

第3回 秋田市知的障がい児・者 サポーター養成講座

平成29年10月14日 秋田県社会福祉会館10F・大会議室



講演『知的障がい者の権利擁護の現状と課題』
いわき明星大学教養学部教授 福田幸夫 先生



講演：『みんな一緒』
秋田県立医療療育センター 副センター長 澤石由記夫先生



講演：『子どもの成長を見つめながら社会を考える』
社会福祉法人グリーンローズ 理事長 後藤進先生

障がい児者、サポーター養成講座について：

秋田市手をつなぐ育成会 小林 顕 副会長にお話を伺いました。小林副会長が講座を担当されて3年が過ぎました。今後も長く続けていただきたいと思います。

2月2日、広報部有志で小林副会長の勤務先である潟上市の介護老人保健施設 ほのぼの苑を訪ねました。折悪しく、利用者の方の容体が急変し緊迫した場に訪問してしまい、落ち着くまで待たせていただきました。医師でもある小林副会長は、ほのぼの苑の施設長として勤務されています。30分程で場も落ち着きお話を伺うことができました。

◎まず、サポーター養成講座を始めたきっかけは？

小林副会長が自身の息子さん（小学校当時・特別支援学級に在籍）と千秋公園へ犬の散歩に出かけた際、ちょっと目を離れた隙に息子さんがいなくなってしまう事例が起きてしまった。警察にも連絡して手を尽くして探したが見つからず、途方にくれていた夕方6時半頃：臨港署より連絡あり、土崎で見つかったとのこと。女子中学生3人組に助けられて無事に戻ってこられたのだが、この時に周囲の人が知的障がいの事を知ってくれていたら：という気持ちが強くなり、知人に話したところ、神奈川県愛川町で知的障がい児・者サポーター養成講座があると聞き、愛川町まで出向き話を聞いたのが始まりです。実際

に受講してきました。

◇この講座は知的障がい児・者も一般の方も分け隔てなく安心して暮らせる町を作るために企画され、受講された方が地域や職場で知的障がい児・者のよき理解者となって応援してもらおう事を期待して始めた。

◇障がいのある方への支援
・障がい児者の立場に立って支援、不安にさせないなどの配慮。

・得意なところを伸ばし、嫌いなところは更に嫌にならないように認めてやり、充足感を味わわせる。
・二次障害を生じないように、親と良い関係をつくる。上手にほめてやる。

・できない事には理由がある。原因を一緒に考えて欲しい

最後に紺色のサポーターリストバンドを全員に渡し、2講座が終了しました。

この機会を経て、是非、秋田でもやりたいという気持ちが強くなり、現在第3回まで開講してきました。

◎3年続けられて良かった点、問題点など：

・受講された方々からは続けてくださいという意見があり、施設の職員の方も受講してくれるようになり、これからも続けたいと考えています。

問題点は、だんだん参加者の人数が減少してきた事。知的障がい児・者サポーター養成講座という名称が、受講するとサポーターにならなければいけない：のではないかと誤解されるかもしれない：もっと気軽に参加してもらえような名称はないかと考えている。

◎どんな人に受講してもらいたいのか？

・障がい児者の生活に関わってくる方：

バス会社・コンビニ・スーパー・警察・鉄道・施設関係者：とにかくすべての人に受講してもらいたい。障がい児者に対しての理解を深めてもらい、彼らをおあたりまえの事として社会に受け入れてもらいたいと強く思います。

◎小林副会長の勤務先であるほのぼの苑では、知的障がいの方も受け入れたようですが：

・知的障がい施設に入所していた高齢者を数名受け入れた。医療行為が必要で障害者施設では対応できなかったため

・出産を控えた20代の女性（知的障がい）を受け入れたこともあり、出産は病院で、その後母子は別々の施設に入所したようです。赤ちゃんの父親も不明だったので、そういう結果になったが、本人の意思はどうだったのだろうか？と考えてしまった。

権利擁護として障がい児・者の自己決定権はとても大切だと考えています。

これからも障がいの権利を護るためにもいろいろ働きかけていきたいと思います。

小林副会長、お仕事の合間にお忙しかったと思うのですが、とても丁寧にお話していただきました。最後にはほのぼの苑の施設内を見学させていただき、いい経験をさせていただきました。ありがとうございました。

ご存知ですか？ ヘルプカードとヘルプマーク

ヘルプカード

支援を必要とする人が携帯しているカードです
ヘルプカードの提示がありましたら、カードに記載されている内容にそった支援をお願いします。
なお、ヘルプカードには個人情報記載されていますので、取り扱いには十分注意してください。

Supporter For Disabled Person Akita

講座終了後リストバンドが配布されました

～Supporter For Disabled Person Akita～
秋田の障がいのためのサポーター

共生社会が実現されるためには、一人でも多くの地域住民の皆さまが知的障がい児者を正しく理解していただき、そして温かく見守ってくださることが必要です。

『知的障がい児者サポーター』とは、
“知的障がい”を理解していただき、知的障がい児者やその家族が地域で幸せに暮らせるように温かく見守ってくださる“応援者”のことです。
一人でも多くの皆さまが「知的障がい」そして「知的障がい児者」についてのご理解を深めてくださることを願っております

秋田県 ヘルプマークを知っていますか？ 援助が必要な方のためのマークです。

外見からは分からなくても援助が必要な方がいます。このマークを見かけたら、電車内で席をゆずる、困っているようであれば声をかける等、思いやりのある行動をお願いします。

配慮を必要としている方のための「ヘルプマーク」の普及に取り組んでいます。

配布場所
ヘルプマーク・ヘルプカードは平成29年12月から、お住まいの市町村、各地域振興局 福祉環境部、秋田県障害福祉課で配布しています。

配布対象
障害のある方や難病の方など（障害者手帳の有無は問いません。）

数に限りがあります。無料で配布いたします。郵送での対応はしておりません。ヘルプマークに関する寄付活動等には一切関与しておりません。ヘルプマーク・ヘルプカードの趣旨に沿った、適切な使用をお願いします。 [出典：秋田県]

問い合わせ先 秋田県健康福祉部 障害福祉課
〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号
電話 018-860-1331 (直通)

他にもこんなマークがあります

まずは、知ることから！

耳マーク ハート・プラスマーク マタニティマーク

聞こえが不自由なことを示すマークです 身体内部に障害がある人を示すマークです 妊婦であることを示すマークです

平成30年 新年親睦会 (成人式)

今年も、新年会が1月28日に大町ビルにておよそ70名の参加者とともに、盛大に行われました。

会をはじめに、田中会長から、「秋田市でも来年度には、障害者差別解消法を受けての「秋田市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」ができる…」との話がありました。少しずつですが私たちが望む「知的障害者が安心して暮らせる共生社会」の実現に向かって…との明るい展望のお話を聞き、新年会にふさわしい明るい話題で宴会が始まりました。

◎ご来賓の紹介

秋田市福祉保健部部长 辻 直文 様
 秋田県手をつなぐ育成会会長 高橋 精一 様
 秋田県手をつなぐ育成会顧問 谷内 和夫 様



今年の新年会で、秋田市手をつなぐ育成会の評議員でもある高橋和起さんと息子さんの聖さんが、参加者一人ずつに小さな袋を配ってくれました。「『幸せの青い花』の種」と書かれていたので、ちょっと気になり調べたところ、湯沢市のNPO法人「サポートセンター・ピーイング」のシンボルとなっている花だと知りました。

ピーイングとは…？
 障がいを持つ人が地域の中で生きがいを持って暮らせるよう社会生活や余暇活動の支援・障がい者スポーツの普及などを進めている団体です。
 現在は全国の特別支援学校にこの花の種を届ける企画を進めています。

高橋さんにいただいた、この小さな袋の中の種がどんどん秋田でも増えてくれたらいいな…と思います。

おやじの会



第1回目、発足会です。8名が参加しました。11月25日、秋田駅前たぬき亭にて開かれました。母親達が、イドバタカフェで語り合うなら、父親同士も盃を酌み交わして語り合いたい…！これから会も回数を重ね、何かイベント等もできないかと考えています。是非ご参加ください～

秋田パイロットクラブより『チアフルパイロット賞』受賞!!

この賞は、障がい者と共に生活し、社会参加や自立のため努力している人を励まそうと2006年創設されました。

「秋田市手をつなぐ育成会」近藤美奈子副会長がチアフル賞を受賞！
 自閉症の長男、裕也さんの自立を支えてきたことが認められました。

おめでとうございます!!

残念ながら出席されなかった新成人2名も含めて、これからのご健康と活躍を皆で祈念しております。

祝成人



和やかな会食の中、恒例の新成人のお祝いの会も行われ、今年は4名の新成人とお母様方が参加してくださいました。豊島副会長の紹介でステージに上がると緊張の面持ちながらも笑顔と喜びがあふれていました。会からの記念品とお母様方への花束贈呈があり、それぞれ成人となった我が子から、花束を受け取り感慨無量だったようです。

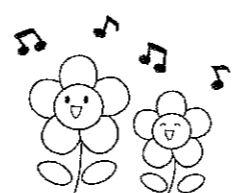


いどばた IDOBATA カフェ



2017年度の活動記録

- 2017・4月 なんびあ
- 7月 ウェスタ (後藤先生招待)
- 10月 センターズ
- 12月 ウェスタ (クリスマス会・藤原先生招待)
- 2018・2月 センターズ



にて開催しました。

毎回20名ほどの参加者がおります。学校部会のお母さん方が増えてきて嬉しく思います。先輩母から障害程度区分や障害基礎年金の裏話も聞けますよ～
 なお、イドバタカフェ(お茶会)には会員でない方も参加できますので、ぜひ入会前の方にも声をかけて、お気軽にご参加ください

イドバタ番外編

先進地視察に参加できなかった母たちで、再度『小又の里』を見学させていただきました。少人数だったためか、近所にあるグループホームも見学させていただきました。



そして、今年のお楽しみは素敵な音楽の鑑賞です。

ピアノ演奏の佐々木悠希くんは、昨年に行き2度目のオンステージ！社会人となった今年は学生服から大人服となり貴族すら感じます。誰もが耳慣れている楽しい選曲ばかりなので、それぞれ手拍子したり口ずさんだり…楽しい時が流れました。



続いては、たくさんの方の会員の方の共通の友人である皇則幸様によるギター演奏です。ご趣味の延長と仰っていたギターも素晴らしい腕前で「禁じられた遊び」や「アルハンブラの想い出」が数曲をしっかりと演奏してくださいました。



最後はお楽しみの福引大会もあり、全員がおみやげをいただいて楽しいひとときをすごしました。会員の皆様が、今年一年健やかに心豊かにすごせますように…

新成人のお母様方の言葉

小野優斗さん・母 恵さん
 ・たくさんの方にお祝いをいただき、親子共々大変嬉しく思います。本当にありがとうございます。

これからは、皆さんに助けていただき笑顔でいられるように頑張りたいと思います。これからもよろしくお祈りします。

土田哲徳さん・母 眞智子さん
 ・成人を迎えて親も新しい気持ちで生活していきたいと思っています。

これから生きていく中で楽しい事や苦しい事が待ち受けていると思いますが、先輩ママさんたちのお知恵を借りて乗り越えていきたいです。これからもよろしくお祈りします。

長谷川駿介さん・母 弘子さん
 ・新年会 成人を祝う会に参加し、たくさんの方にお祝いをいただきとても嬉しく感謝の気持ちでいっぱいになりました。これからも親子で力を合わせ頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお祈りします。

山本峻平さん・母 眞知子さん
 ・子どもに障がいがあるとわかった時、将来の事やこれからの育児をどうしたらいいのか…と不安に押しつぶされそうになった事を覚えています。でも、いろんな方たちの理解と協力・支援を受け、障がい児を持った母は決して「孤独」ではないんだ…と励まされました。これからも親子共々よろしくお祈りします。

障害のある子の
家族が知っておきたい
「親なきあと」
「親あるあいだ」の準備

講師 渡部 伸氏

平成30年 2月17日(土) 09:00~15:00
秋田市老人福祉センター3F
秋田市老人福祉センター3F
秋田市老人福祉センター3F

①お金で困らないための準備、②生活の場をどこに確保するか、③日常生活のフォロー(困ったときの支援)を順序に解決法を提案していただきました。
一見必要そうに見える「お金」についてはたくさん遺せたとしても、使い方が預け方を間違えるとトラブルになる可能性がありますが、親子共に「社会と接点を多くもつ」ことこそ必要不可欠なこと。より多くの関わりをもつことで、誰かが心配してくれ、助けてもらったり、有益な情報を得られたり、必要なサービスを受けられたりします。
私たち育成会も、これからますますたくさんの人とつながり、互いに助け合える団体として成長していく必要があるとあらためて感じる研修会となりました。

な課題として、

去る二月十七日(土)秋田市老人福祉センター三階会議室にて、秋田市手をつなぐ育成会主催の研修会が行われました。講師に「親なきあと」相談室主催、行政書士の渡部伸氏をお迎えし、現在の社会福祉制度や障がい者を取り巻く環境、将来に向けてどんな準備が必要かなど、笑いを交えてお話ししていただきました。



はじめに、「親なきあと」の心配がなくなるほどの社会資源はないが、社会との接点があればどこかで救ってくれる福祉のサービスはあり、少しずつ良い方向に向かっていて、法の整備もされてきており、これからも変化し続ける。といった背景の説明をいただき、次に具体的

この日は定員九十名に対し百二十名の申し込みがあり、残念ながらお断りしなくてはならないほどでした。皆さんの関心の高さが伺えます。育成会では今後も皆さんに必要な情報提供をしてまいりたいと考えておりますので、「こんな勉強会でやってほしい」というご要望がございましたら、是非事務局まで一報いただけたらと存じます。

芸術家さんの
のコーナー

日曜画家として活動されている小林副会長、この度受賞され、名実共に画家となりました!!



小林 顕 作「天と地の間で」
キャンバスに油彩 162×131cm



この作品は、昨年11月に秋田県立美術館で開催されました第61回秋田美術作家協会展公募部門で、他に圧倒的な得票差をつけて数年に一度しか与えられることのない最高賞の「美術作家協会賞」を受賞しました。

小林会員はこの絵で知的障害のある息子さんと母親とのふれあいを表現したということです。そして、今回の受賞で、小林会員は秋田美術作家協会から秋田の美術作家(芸術家)であると認められました。

受賞おめでとうございます!

武田 昌子さん(天王つくし苑)

絵やイラストを描くのがとても得意な昌子さん。ほんの20分ほどで、イラストの模写を描き上げました。その描写方法も独特で、片側からコピー機のように描いていくのです。その緻密な観察力と器用さに驚かされます。外出時はスケッチブックが欠かせません。新作も楽しみですね。



↑こちらが元の絵

右が模写したイラストです →→→



高いところのりんごも、背が高いから楽々～



本人参加もたくさんきりたんぼ、うまっ!!



晩秋の一日...皆さんも参加してみませんか?

りんご狩り
ほかほか陽気に恵まれた11月3日、雄和の種沢観光りんご園に行ってきました。参加者は59名。今回は特に真っ赤で大きなりんごがたくさん実っており、配られた袋にいっぱい詰め込んで、皆さん満足顔でした。園内に試食コーナーも準備されており、「これは甘い」「酸味がほどよい」等数種類のりんごを堪能できました。その後、岩見「ミニユニティセンター」へ移動し恒例のおいしいさりとたんぼ鍋をいただきました。毎年作ってくださる有志の方々にも感謝感謝♥です。おなかいっぱい食べて、まだまだ満足顔でした。参加した皆さんと楽しく交流できたことも収穫でした。皆さんも是非気軽に参加してみてください。



渡部先生には、秋に予定の「第4回知的障がい児・者サポーター養成講座」でもお招きして、お話しいただく予定です。今回残念ながら定員に溢れてしまいお断りされた方々は是非次回ご参加ください

親心の記録
支援者の方々へ



会員の皆様に送付しました『親心の記録』も渡部先生の監修によるものです。親に何かあった時、支援してくださる方へ伝えたいことや、覚書等に活用して下さいとのことでした。持っているだけで安心してしまおう方が多いそうです。親に何かある前に!ぜひ記入しましょう!

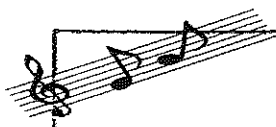


ご協力ありがとうございました

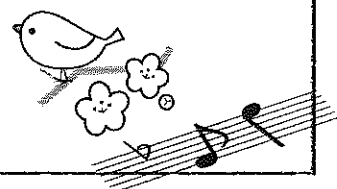
11/21~22 秋田拠点センターアルヴェにて「第17回心いきいき芸術・文化祭」の中のブースで行いました。テーブルの上は会員の手作り製品や、善意の元に集められた品々で満載~各施設のステージ発表もあり、賑わいの中たくさんのお客様が立ち寄っていただきました。

売上金は、5万5千円にもなり、お手伝いしてくださった全ての方々に感謝の思いでいっぱいです。売上金は育成会会計へ計上させていただきました。ありがとうございました♥





お知らせ



秋田市手をつなぐ育成会
総会
平成30年度 定期総会

2018年 5月19日
八橋老人福祉センター3F 会議場

第60回
手をつなぐ育成会
秋田県大会
(鹿角・小坂大会)
9月2日(日)・ホテル鹿角(大湯)

第58回
手をつなぐ育成会
東北ブロック大会

9月8日(土)～9日(日)
山形県天童市：ホテル天童

第5回
全日本手をつなぐ育成会
全国大会

平成31年
2月23日(土)～24日(日)
京都市：国立京都国際会館

いどばた IDOBATA カフェ



(女性部会より)

参加しませんか～

お茶やお菓子を楽しみ、ランチを食べながら
井戸端会議(雑談や情報交換)しましょう～♪
参加費 毎回500円です

次回は、4月開催予定です
場所は、未定です

どうぞお気軽にご参加ください～
連絡先・藤井 090-1371-7384

バザー

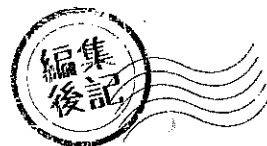
11月に予定しています
手作り品・家庭に眠っている品物などあり
ましたら、寄付をお願いいたします
お知らせください♪

事務局・近藤 090-8785-8436

お悔やみ

秋山 健太さん(ご本人) 柳田新生寮
黒川 源司さん(ご本人) 竹生寮
村上 良悦さん(鈿也さん保護者) 在宅

平成29年度におそくなりになられた会員の方々です
謹んでご冥福をお祈りいたします



先日、秋田駅構内で、認知症サポーター
のオレンジバンドをカバンにつけている人
を見つけました。

ふと、どれだけの人がこのリングの意味を知っている
だろうか…と考えながらも、その優しい気持ちに嬉しく
なりました。

知的障がい者サポーターのブルーバンドも街で見
かけるようになればいいのにな…と。そのためにも養成講
座は絶対必要だと思っています。

ヘルプマークもそうですが、たくさん目に触れてま
すは意味を知ってもらうところから始めなければ…
できることをひとつずつ実行していこうと思う春です。

(広報部)

印刷/社会福祉法人 緑光福祉会

就労継続支援B型 緑光苑



名刺・伝票・封筒・チラシ・ポスター・冊子…
その他、印刷全般承ります
～年賀状の印刷もやっています～